

生分解性マルチ比較試験に伴う検討会が開催されました

令和6年度において、鉾田市農業振興協議会（鉾田市、JA 茨城旭村、JA ほこた、鹿行農林事務所）では、みどりの食料システム戦略緊急対策交付金（グリーンな栽培体系への転換サポート事業）を活用し、廃プラスチック削減や農作業省力化を目的として、かんしょで使用している農ポリマルチから生分解性マルチへの転換に向けた実証試験を行いました。

12月23日（月）、鉾田合同庁舎において検討会が開催され、鉾田市農業振興協議会及び生分解性マルチメーカー等、合わせて19名が参加し、今年度実施した生分解性マルチ比較試験の結果について、意見交換を行いました。

当部門からは生分解性マルチ比較試験結果（畝内の地温・含水率、かんしょの収量・品質など）を説明し、生産者からは生分解性マルチを使用した感想や生分解性マルチメーカーからは試験結果に対する意見が述べられました。参加者からは、生分解性マルチによる次作への影響、供試したマルチ以外の生分解性マルチの分解速度などの質問があり、活発な意見交換を行うことができました。

今後は、今年度の試験結果を活かし、生分解性マルチへの転換に向けて、次年度の試験内容を協議会で検討する予定となっています。

当部門では、鉾田市農業振興協議会の活動を支援していくとともに、かんしょ生産者の農作業省力化及び環境にやさしい農業の取組推進のため引き続き支援を行っていきます。

鉾田地域農業改良普及センター（成長産業）



検討会の様子